

ようこそ みみはらへ

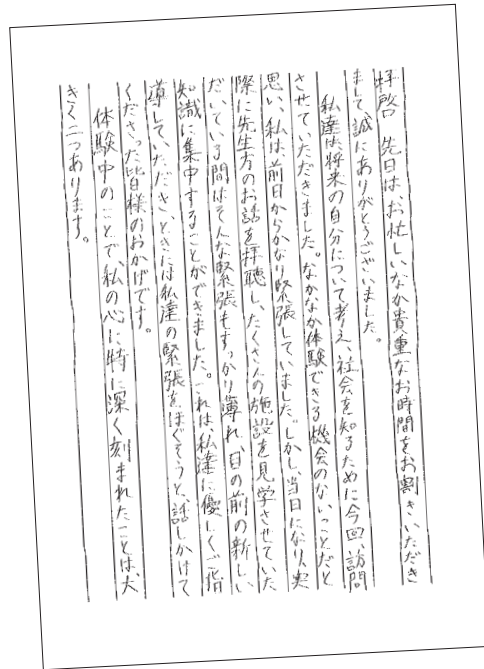
2013年12月

高校生職場体験

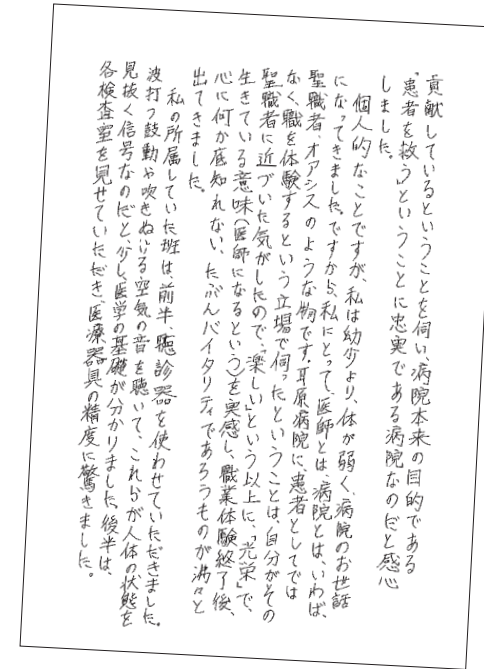
今年も12月に大阪府内の高等学校の生徒が耳原総合病院職場体験に参加しました。これは高校の授業の一環としての職場体験で、参加高校は三国丘高校・大手前高校・天王寺高校の3校です。耳原総合病院は7年前から毎年受け入れを継続しています。体験コースは医師体験・看護師体験・薬剤師体験・リハビリ体験で、総勢89名の参加となりました。



参加学生の志望動機は様々ですが多くは自身の将来を見据えてのものでした。体験では単に医療現場を見学してもらうだけでなく、管理事務や友の会の代表理事が当院の理念を伝える病院説明をしたり、患者さんに寄り添う医療をより身近に感じられるようにMSWのお話を交えたプログラムも組んでいます。医師体験では実際に医師から直接レクチャーを受け、看護師・リハビリ体験では患者さんと直にふれあう機会もあります。このような体験を通して、未来の医療人としてはばたいてくれたら嬉しいですね。



職場体験をされた高校生の方のお礼の手紙



参加を終えての感想を一部ご紹介します。

耳原総合病院の理念を聞いてどのように感じましたか？

- 無差別ということとはとても大切なことだと思います。命の重みは誰でも同じとあらためて感じました。
— 看護師コース参加 女性(1年生)

参加する前と後で病院のイメージは変わりましたか？

- 患者さんとの距離がとても近くて、病院はたんに病気を治すだけではなくてコミュニケーションの場でもあるんだとわかりました。
— リハビリコース参加 女性(1年生)



病院見学の中で一番印象に残ったことは？

- 病院を回って色々な機械を見せてもらったことです。不思議なものがいっぱい、医学のすごさを実感できました。
— 医師コース参加 男性(1年生)
- 聴診器で肺の音を聞いたこと！
— 医師コース参加 女性(1年生)
- 赤ちゃんがうまれた瞬間です。外で泣き声を聞いたときはものすごく感動しました。
— 看護師コース参加 女性(1年生)
- 薬を見てまわったときに、危険な薬を厳重に保存しているのを見たことです。薬剤師さんの丁寧な仕事に感動しました。
— 薬剤師コース参加 女性(1年生)

地域に根ざした診療を目指しています

Interview

たちばな内科クリニック 院長

タチバナ カツヒデ
橋 克英



- 医師を目指したきっかけは？
ブラックジャック(間黒男)がきっかけ。
- 診療の際に心がけていることは？
患者さんの顔をみて診察すること。
- 地域医療について
地域の人々のための診療を目指しています。
- 耳原総合病院への希望・要望
新病院建設に向け、スタッフのみなさんは意気揚々とされているものと思います。その思いをもってすべての患者さんに接しつづけてくださいますようお願いしています。
- 最後に一言お願い致します
耳原総合病院さんにおかれましては患者さんの精査入院が必要になった時は、よろしく願っています。

血液型 A型
星 座 うお座
略 歴 昭和63年3月
大阪市立大学医学部卒業
大阪府立身体障害者福祉センター勤務を経て、
平成17年4月
たちばな内科クリニック
開設



たちばな内科クリニック

〒590-0804
大阪府堺市堺区緑ヶ丘南町3-2-18 山本ビル1F
TEL.072-244-8800 FAX.072-244-8900

スタッフ
医師1名
看護師4名 事務3名

医療機器
腹部エコー、頸動脈エコー、心電図、レントゲン、ホルター心電図、呼吸機能検査

診療科目	外来診療時間	月	火	水	木	金	土
内科	9:00 ~ 12:00	○	○	○	×	○	○
	16:30 ~ 19:00	○	○	○	×	○	×

休診日: 木曜・土曜午後・日曜・祝日
※身体障害者(呼吸器)診断・在宅酸素療法